

1次最終講義レジュメ

1次対策最後の総まとめ教材です。重要な知識の最終チェックや、法改正などの最新情報の確認を行うことができます。

最後の総まとめ! 最新情報もチェック!

ここが
Point

直前論点チェック

最後に押さえておくべき重要論点の知識の整理をします。

ここが
Point

法改正等の最新情報

最新の法改正情報やトピックなどをお伝えします。

第4章 消費者購買行動と組織購買行動

1. 消費者購買行動

消費者購買行動については、過去問の出題内容を確認するとともに、準拠書籍（完成読書レジュメを参照）、消費者の購買決定行動のタイプを中心に確認しておくこと。

【最新確認問題：平成18年度 第35問】

消費者が自分の購買問題を解決する際、限定的問題解決行動、定型的問題解決行動、包括的問題解決行動の3つの場合に分類されることがある。それぞれの特徴として、最も不適切なものはどれか。

ア 限定的問題解決行動では、消費者にその製品の評価基準があるため、新たに市場に登場した製品に対して、簡単に評価を下すことができる。

イ 限定的問題解決行動は、プロダクト・ライフサイクルの成長期にある製品の購買の多い。

ウ 定型的問題解決行動は、消費者が当該製品や当該ブランドを長く知っている際にみられる。

エ 定型的問題解決行動をとり続けると、他の製品をますます考慮しなくなる。

オ 包括的問題解決行動では、消費者は購買意思決定に必要な情報の探索に時間を多く費す。

【解 答】

正解：ア

消費者の購買決定行動のタイプは次の3つに分類される。

購買行動タイプ	製品に関する知識・態度
定型的問題解決行動	製品についての知識・態度が確立している
限定的問題解決	製品についての知識・態度が確立している
包括的問題解決	製品についての知識・態度が確立している
（包括的問題解決行動）	製品についての知識・態度が確立している

限定的問題解決行動では、製品については熟練しているが、ブランドについての知識は乏しいため、新製品を簡単に評価できるわけではない。

-54-

第2章 補足論点等

1. 東日本大地震に伴う中小企業振興について

平成28年3月11日に発生した東日本大地震により被災に遭った中小企業への支援策をまとめる。なお、以下はすべて平成28年3月時点の内容である。

(1) 資金繰り支援

施策名	概要
東日本大震災復興特別貸付（被災者向け）	事業の復旧に必要な設備資金・運転資金を低利・低額で融資。
東日本大震災復興特別貸付（被災者向け）	被災者の生活の安定を図るため、復興支援金を低利・低額で融資。
東日本大震災復興特別貸付（被災者向け）	被災者の生活の安定を図るため、復興支援金を低利・低額で融資。

(2) 雇用調整助成金

施策名	概要
雇用調整助成金	東日本大震災の影響により事業活動の減少を余剰の従業員に支払うための助成金。

(3) 販路開拓支援

施策名	概要
販路開拓支援	東日本大震災の影響により事業活動の減少を余剰の従業員に支払うための助成金。

II 重要過去問題

重要問題は、本試験において繰り返し出題される問題が多い。特に、平成や10/12、東日本大震災に関する問題が頻りに出題されている。2つ、3つに絞って出題される場合は多くの受験生が正解できると見られる問題である。範囲が広すぎた場合は整理して対応できるようにしておく。

年度	問題番号	問題内容	正解
H22	第4問	製品開発・商品設計	
	第5問	VCE	
	第9問	工場管理方式	
	第15問	製品工程分析	
	第19問	動作経済の原則	
	第26問	ISF	
	第28問	輸入関税率	
	第30問	物流ABC	
	第31問	CAO	
	第33問	設備維持	
H21	第35問	JANコード	
	第36問	国際標準コード等	
	第38問	SCM及びASN	
	第39問	生産管理と生産計画の手法	
	第40問	1人1台方式・ワンオペ方式	
	第41問	IE（標準時間）	
	第42問	IE（動作研究）	
	第43問	生産ラインの生産性向上	
	第44問	OSDの計算（生産比率は出題可能性が高い）	
	第45問	ISM	
H20	第21問	ISF	
	第22問	商品開発	
	第23問	一歩改良	
	第24問	JANコード	
	第25問	Web-EDI	
	第26問	トレーサビリティ	
	第27問	トレーサビリティ	

-55-

ここが
Point

重要過去問題リスト

頻出の問題が出題された場合に、確実に得点できるようチェックします。